

# 歩くと 見つかると いいモノコト

八事  
駅編

「山手グリーンロード」から八事交差点に向かって撮影した1枚。  
右側の白い大きな建物が中京大学。遠くにはイオン八事店も。

洗練された雰囲気は  
街中に電線がないから



## 名古屋市屈指のセレブな街 八事に意外すぎる「発祥の地」が！



2 80年代後半、山手四谷通の八事～本山間で多くのイベントが開かれていて、当時田舎者の高校生だった筆者も何度か足を運んだ。3 「山本球場」で開催された選抜野球大会は1度きり、翌年の第2回以降は阪神甲子園球場に舞台を移した。4 『YOSHINO GOLF』は会員制だが、1コマ60分3,300円のビジター料金も用意している。

名古屋の街を歩いて、新たな魅力を再発見するというこの企画。今回は、八事駅界隈を散策しました。  
熱田区の神宮前北交差点から八事交差点を経由して本山交差点までが「山手グリーンロード」です。「山手通」とも呼ばれますが、私の世代では「山手四谷通」でした。  
バブル全盛の80年代後半、山手四谷通は、ファッションビルが建ち並ぶ流行の最先端をいくオシャレスポットでした。今でも洗練された雰囲気を感ずるのは、街中に電線がないからでしょう。街の規模こそまったく違いますが、何となく東京・恵比寿に似ていると思います。  
国道153号線を北上すると、八事方面へ歩き、半僧坊交差点を北上すると、「センバツ発祥の地」があります。ここは大正13年

（1924年）に第1回選抜中等学校野球大会が開催された「山本球場」の跡地。ここからの選抜高等学校野球大会となったのです。今ではマンションが建ち、球場の面影はありませんが、モニユメントがその歴史を伝えています。  
さて、この日は以前に「那古野三ツ星グルメ」でもお世話になった雲雀ヶ丘の『吉野寿司』で昼食を摂ることに。4種類の昼膳セットの中から「梅」を選びました。お寿司はネタとシャリのバランスが秀逸で、具沢山の茶碗蒸しもとても美味しく、お腹を満たすと同時に心も豊かになりました。  
食後は昨年11月『吉野寿司』の2階にオープンした『YOSHINO GOLF（会員制）』を見学させてもらいました。食事をしながらコミュニケーションゴルフを楽しむので、家族やグループでの利用がおすすめです。  
八事駅界隈は昔も今もセレブな街というイメージがすっかり定着していますが、時代の変化とともにこれからも変貌を遂げていくことでしょう。



昼膳セット「梅」12,750円（税込）。寿司と前菜三点盛り、茶碗蒸し、お椀、デザートとのセット。昼は「竹」4,070円（税込）や「松」5,280円（税込）などがある。夜の寿司会席コースは7,150円（税込）～。

筆者Profile  
フードライター&  
カメラマン  
永谷 正樹



名古屋の食をテーマに、雑誌やネットメディアなどの取材・撮影を担当。なごやめしにまつわる講演やテレビ出演も多数。ブログ「永谷正樹、という仕事。」を毎日更新中。



店舗情報  
八事ひばりヶ丘  
吉野寿司

住所 / 昭和区広路町雲雀ヶ岡10  
TEL / 052-832-0017 定休日 / 水曜、第2火曜  
営業時間 / 11:00～14:00 (13:30L.O.)  
17:00～22:00 (21:30L.O.)

